

陸連時報 三

2016
平成28年

9

月号

題字は平沼亮三(初代陸連会長)の書

目 次

強化関連情報	198
第31回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ)トラック・フィールド・競歩日本代表選手メッセージ	
第3回日中韓3カ国交流陸上競技大会報告	
科学委員会活動報告(日本グランプリシリーズ、日本選手権など)(科学委員長 杉田正明)	206
第204回国際陸上競技連盟(IAAF)カウンシル会議 報告(会長 横川浩)	208
IAAFスポーツ医学(予防及びリハビリテーション)セミナー参加報告 (医事委員会トレーナー部委員 廣重陽介)	209
大会観戦ガイド	210
陸協NEWS	212
事務局からのお知らせ	214

公告

「陸連時報」は公益財団法人日本陸上競技連盟定款第4条第6号の「機関誌」の性格を有するものですが、毎月「陸上競技マガジン」と一体として発行しています。陸上競技に関する啓発記事のほか、必要に応じて、評議員会、理事会の決定事項、各専門委員会、事務局からの報告、通達も掲載いたします。本時報に掲載した通達は、公式に通達したものと取扱わさせていただきますので、登録競技者は本時報の掲載内容にご注意下さい。また、陸上競技指導者の方は、所属競技者にお知らせ下さるようお願い致します。

公益財団法人日本陸上競技連盟

第31回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ)

トラック・フィールド・競歩日本代表選手メッセージ

2016.6.27、7.13発表分

①大会に向けての抱負 ②種目の魅力! ③将来を夢見て練習に励む中高生に向けてのメッセージ
④ゲンを担いで大会前日の夕食に食べるもの ⑤座右の銘(信条)/好きな言葉

●男子



桐生 祥秀 (キリュウ ヨシヒデ)
過去出場年: 初出場
所属: 東洋大学 登録陸協: 埼玉
生年月日: 1995/12/15
身長/体重: 175 / 68
資格記録: 10.01 資格種目: 100m
出身: 彦根南中学校 (所属部: 陸上部) → 洛南高校 (所属部: 陸上部)

- ①オリンピックでは自分が今持っている力を思いっきり出して最高のパフォーマンスをしたいと考えています。自己ベストも狙っています。
②100mは一瞬で終わりますが、その一瞬にすべてをかけるのでその思いを見ていただきたい。
③楽しく走ろう! ④特になし ⑤特になし



ケンブリッジ 飛鳥 (ケンブリッジ アスカ)
過去出場年: 初出場
所属: ドーム 登録陸協: 東京
生年月日: 1993/5/31
身長/体重: 180 / 76
資格記録: 10.10 資格種目: 100m
出身: 深川第三中学校 (所属部: 陸上競技部/指導者: 大塚秀世) → 東京高校 (所属部: 陸上競技部/指導者: 大村邦英) → 日本大学 (所属部: 陸上競技部/指導者: 瀧野辰雄)

- ①“FINAL”決勝に残り、世界の強い選手たちと戦いたいです。
②選手も会場も、そのたった10秒に集中するところが魅力だと思います。
③競技を楽しむことを忘れずに、頑張ってください。
④特にありません。栄養バランスは気にしながら、そのときに食べたいものを食べます。
⑤特にありませんが、とにかく「楽しむ」ということを大切にしています。



山縣 亮太 (ヤマガタ リョウタ)
過去出場年: 2012
所属: SEIKO 登録陸協: 東京
生年月日: 1992/6/10
身長/体重: 177 / 70
資格記録: 10.06 資格種目: 100m
出身: 修道中学校 (所属部: 陸上競技/指導者: 池内啓) → 修道高校 (所属部: 陸上競技/指導者: 松澤慶久、有田慶彦) → 慶応義塾大学 (所属部: 競走部/指導者名: 川合伸太郎)

- ①怪我から復帰して、今シーズンはここまで順調にきています。オリンピック本番では自己ベストと決勝進出を目指します。
②100mは一瞬の勝負になるので、レース前から独特の緊張があります。試合の前後も含めて100mならではの雰囲気味わって貰いたいです。
③今、自分の目の前にある記録を伸ばし続けた先に、オリンピックもあります。常に自己記録を目指して突き進んでください。
④ゲンを担いで食べるものはないですが、試合前日は炭水化物を取ります。
⑤勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし。



飯塚 翔太 (イヅカ ショウタ)
過去出場年: 2012
所属: ミズノ 登録陸協: 静岡
生年月日: 1991/6/25
身長/体重: 185 / 80
資格記録: 20.11 資格種目: 200m
出身: 浜岡中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 小野芳彦) → 藤枝明誠高校 (所属部: 陸上部/指導者: 清尊徳、佐藤常保) → 中央大学 (所属部: 陸上部/指導者: 小栗忠、豊田裕浩)

- ①200m決勝進出、4×100mRメダル獲得 アジア記録奪還
②コーナーから直線に入るときのスピード感が最大の魅力です。200mはタイプがいくつかに分かれています。スタートから出て逃げ切るタイプ、コーナーの終盤から出てくるタイプ、直線に入ってから追い込んでくるタイプです。このそれぞれのタイプの争いが面白いです。
③2つ大切にしてほしいことがあります。まず1人にならないこと、そして大きな夢を持つことです。強くなるためには周りの力が絶対にならなくてはならないと思ってください。仲間と互いに褒めあったり、指導者にもしっかり意思表示をしたり一生懸命な姿を見せていると自然と周りには力になってくれます。伸び悩んだとき、より良い決断がしたいときにどれだけ周りに見方がいるのかで大きく競技人生が変わります。そして大きな夢を持つことでこれまでの過程の壁は低く感じるので成し遂げやすくなるはずですよ。また大きな夢を持つことで応援する人が増えます。
④前日ではありませんが2日前はうなぎを食べます。
⑤常に向上心



高瀬 慧 (タカセ ケイ)
過去出場年: 2012
所属: 富士通 登録陸協: 千葉
生年月日: 1988/11/25
身長/体重: 179 / 67
資格記録: 20.14 資格種目: 200m
出身: 静岡市立長田南中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 本間先生) → 静岡西高校 (所属部: 陸上部/指導者: 海野俊明/右代晃司) → 順天堂大学 (所属部: 陸上部/指導者: 佐久間和彦)

- ①200m 自己ベスト更新 決勝進出、リレー (4×100mR) でのメダル獲得
②スピード感と後半の勝負、チームワーク、バトンパス
③代表選手の走りを見て、将来オリンピックを目指し、陸上競技が好きになってもらえたらいいと思います。
④特になし ⑤努力は結果を裏切らない



藤村 謙司 (フジミツ ケンジ)
過去出場年: 初出場
所属: ゼンリン 登録陸協: 神奈川
生年月日: 1986/5/1
身長/体重: 182 / 69
資格記録: 20.13 資格種目: 200m
出身: 三室中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 降幡厚博) → さいたま市立浦和高校 (所属部: 陸上部/指導者: 高澤正夫) → 日本大学 (所属部: 陸上競技部/指導者: 安井年文)

- ①個人種目でのファイナルを目指し、そこで勝負したい。リレーでは日本記録を更新し、表彰台を目指したい。
②コーナーを高速で駆け抜ける技術やコーナーから直線に入っていく際のスピード感に注目して観ていただきたい。
③自分も陸上を始めた頃は県大会へも出場できないようなレベルの選手だったのですがでも継続して努力することで必ず力になると信じてトレーニングに励んでほしい。
④白飯 ⑤継続は力なり



ウォルシュ ジュリアン (ウォルシュ ジュリアン)
過去出場年: 初出場
所属: 東洋大学 登録陸協: 埼玉
生年月日: 1996/9/18
身長/体重: 175 / 75
資格記録: 45.35 資格種目: 400m
出身: 東村山第3中学校 (所属部: バスケ部) → 東野高校 (所属部: 陸上部/指導者: 鹿島先生、武井先生)

- ①リオに向かってしっかり準備して大会では44秒台を狙って決勝に進みたいと思います。
- ②100m、200mとは違い400mは一周を争うのでその中でドラマがあり最後まで見逃せない種目です。
- ③目標を持ち続けて常に高みを目指せば大丈夫です。
- ④カモンバ ⑤日々精進



金丸 祐三 (カネマル ユウゾウ)
過去出場年: 2008 / 2012
所属: 大塚製薬 登録陸協: 徳島
生年月日: 1987/9/18
身長 / 体重: 178 / 75
資格記録: 45.22 資格種目: 400m
出身: 高槻市立芝谷中学校 (所属部: 陸上部 / 指導者: 竹口恵子) → 大阪高校 (所属部: 陸上部 / 指導者: 岡本博)

→ 法政大学 (所属部: 陸上部 / 指導者: 苅部俊二)

- ①ベストを尽くす。 ②スピードとスタミナのカクテル
- ③明るく楽しく元気よく ④種類 ⑤運命は勇者に微笑む



加藤 修也 (カトウ ノブヤ)
過去出場年: 初出場
所属: 早稲田大学 登録陸協: 静岡
生年月日: 1995/4/16
身長 / 体重: 185 / 72
資格記録: 45.71 資格種目: 4×400mR
出身: 豊岡中学校 (所属部: サッカー部 / 指導者: 鈴木秀幸) → 浜名高校 (所属部: 陸上部 / 指導者: 高橋和裕)

- ①夢の舞台であるオリンピックを精一杯楽しみたいと思います。日々受けている多くの方々からの支援に応えるためにも、ベストなパフォーマンスをします。
- ②4×400mRは大概の大会で最後に行われる種目。競技の終わった選手が一丸となつてチームで盛り上がります。
- ③僕達よりも今の中高生こそ、これからは作りあげていくと思います。目標を失わずに頑張ってください。
- ④次の日のために、消化の良いものを食べます。
- ⑤成功の一步は人との出会いから始まる



北川 貴理 (キタガワ タカマサ)
過去出場年: 初出場
所属: 順天堂大学 登録陸協: 福井
生年月日: 1996/9/5
身長 / 体重: 177 / 68
資格記録: 45.52 資格種目: 4×400mR
出身: 栗野中学校 (所属部: 陸上部 / 指導者: 遠藤伸一) → 敦賀高校 (所属部: 陸上部 / 指導者: 木原先生、橋本先生)

- ①決勝進出を目標に頑張ります。その為には、日本記録に近いタイムが必要となってくるので、ラップでは45秒00を目指します。
- ②最後の競技ということもあり盛り上がります。
- ③自分にはできると信じてトレーニングを続けることが大切です。
- ④そば ⑤冷静に熱く



田村 朋也 (タムラ トモヤ)
過去出場年: 初出場
所属: 住友電工 登録陸協: 兵庫
生年月日: 1992/8/20
身長 / 体重: 178 / 70
資格記録: 46.07 資格種目: 4×400mR
出身: 豊明茶中学校 (所属部: 陸上競技部 / 指導者: 中根先生) → 名古屋大谷高校 (所属部: 陸上競技部 / 指導者: 石川重弥) → 中京大学 (所属部: 陸上競技部 / 指導者: 青戸慎司)

- ①日本記録を更新し、決勝で勝負したいと思います。
- ②陸上競技トラック種目の大トリといえばこれ!最後の最後までどうなるかわからない、ハラハラドキドキの種目です。
- ③努力は皆しています。その努力をどう生かすかが大切な事だと思います。
- ④特にないので、消化のいい物を食べます。
- ⑤不退心



佐藤 拳太郎 (サトウ ケンタロウ)
過去出場年: 初出場
所属: 城西大学 登録陸協: 埼玉
生年月日: 1994/11/16
身長 / 体重: 173 / 64
資格記録: 45.58 資格種目: 4×400mR
出身: 狭山ヶ丘中学校 (所属部: 野球部 / 指導者: 山下先生) → 豊岡高校 (所属部: 陸上競技部 / 指導者: 高取

先生、西幅先生)

- ①リオアデジャネイロの舞台を再優先にしながらも、今後の400m界の未来に繋がるようなレースをしたい。
- ②とにかく盛り上がります。みんなで一緒に熱くなりましょう。
- ③下を見て安心しない。上を見て悩みながら生きて下さい。
- ④100%系のジュース
- ⑤道を選ぶということは、必ずしも歩きやすい道を選ぶという事ではない。



川元 奨 (カワモト ショウ)
過去出場年: 初出場
所属: スズキ浜松AC 登録陸協: 静岡
生年月日: 1993/3/1
身長 / 体重: 173 / 67
資格記録: 1.45.67 資格種目: 800m
出身: 佐久市立野沢中学校 (所属部: 陸上部 / 指導者: 佐藤先生) → 北佐久農業高校 (所属部: 陸上部 / 指導者: 武内先生) → 日本大学 (所属部: 陸上競技部 / 指導者: 松井一樹)

→ 日本大学 (所属部: 陸上競技部 / 指導者: 松井一樹)

- ①予選突破、日本記録の更新
- ②中間走 (300~400m)、ラストスパートのかけ引きを見てほしいです。
- ③覚悟を決めて走ることでタイムが出ます。あきらめずに頑張ってください。
- ④うどん ⑤覚悟



大迫 傑 (オオサコ スグル)
過去出場年: 初出場
所属: Nike ORPJT 登録陸協: 東京
生年月日: 1991/5/23
身長 / 体重: 170 / 52
資格記録: 13.08.40/27.45.24 資格種目: 5000m/10000m
出身: 金井中学校 (指導者: 山口智美) → 佐久長聖高校 (指導者: 両角速) → 早稲田大学 (指導者: 渡辺康幸)

- ①全力をつくします。
- ②10000m: レース途中での細かい駆け引き、5000m: 短距離のようなラストスパート
- ③よく食べ、よく寝て、よくトレーニングをしましょう。送ってきた生活、やってきたトレーニングは裏切りません。



村山 絃太 (ムラヤマ コウタ)
過去出場年: 初出場
所属: 旭化成 登録陸協: 宮崎
生年月日: 1993/2/23
身長 / 体重: 174 / 54
資格記録: 13.19.62/27.29.69 資格種目: 5000m/10000m
出身: 仙台市立八軒中学校 (所属部: 陸上部 / 指導者: 小松貴宏) → 明成高校 (所属部: 陸上部 / 指導者: 中村登) → 城西大学 (指導者: 櫛部静二)

- ①10000m8位入賞、5000m決勝進出
- ②ペースの変化や駆け引き ③何事も楽しみながら練習しましょう。
- ④なし ⑤夢は叶う



設楽 悠太 (シタラ ユウタ)
過去出場年: 初出場
所属: Honda 登録陸協: 埼玉
生年月日: 1991/12/18
身長 / 体重: 170 / 48
資格記録: 27.42.71 資格種目: 10000m
出身: 男衾中学校 (所属部: 陸上部 / 指導者: 川音順子) → 武蔵越生高校 (所属部: 陸上部 / 指導者: 北村亮祐)

→ 東洋大学 (所属部: 陸上競技部 / 指導者: 酒井俊幸)

- ①上位目指して頑張ります。

- ②残り1周のラストスパートに注目です。
- ③積極的に先頭を走り、元気と感動を届けられるような走りをお願いします。
- ④特になし ⑤夢は叶う



矢澤 航 (ヤザワ ワタル)
過去出場年：初出場
所属：テサント 登録陸協：東京
生年月日：1991/7/2
身長/体重：178 / 64
資格記録：13.47 資格種目：110mH
出身：横浜市立岩崎中学校 (所属部：陸上競技部/指導者：鈴木健宏) →法政大学第二高校 (所属部：陸上競技部/指導者：野村忠信)

- ①12年ぶりの日本記録更新をオリンピックの舞台で達成し、準決勝進出を目指しています。大会の雰囲気や飲まれずに、いつも通りの攻めの走りができるようにしっかり準備していきます。
- ②106.7cmあるハードル10台を選手たちが越えていく姿は、全種目の中でもトップクラスの迫力があると思います。是非、各選手のハードリングの違いにも注目してご覧ください。
- ③上手くいかないことがたくさん目の前に出てきて心が折れそうになっても、自分が積み重ねてきたことに絶対的な自信を持ち続けて下さい。必ず乗り越えられると思います。自信が持てる何かを見つけ出していける練習をしていって下さい。一緒に頑張りましょう。
- ④特に決めていません。 ⑤「有言実行」、「誰よりも自分を信じぬく」



野澤 啓佑 (ノザワ ケイスケ)
過去出場年：初出場
所属：ミズノ 登録陸協：山梨
生年月日：1991/6/7
身長/体重：175 / 62
資格記録：48.67 資格種目：400mH
出身：南アルプス市立甲西中学校 (所属部：陸上部/指導者：名取和仁) →巨摩高校 (所属部：陸上部/指導者：小林直樹) →早稲田大学 (所属部：競走部/指導者：磯繁雄)

- ①今回、日本の代表として世界で戦えることは大変光栄なことです。この少ないチャンスを得るために多くの方々に支援やサポートを頂きました。そこで、感謝の気持ちを忘れずに大きな舞台で自分の力を存分に発揮し、1秒でも速く、1つでも上の順位を狙って頑張りたいと思います。
- ②世界でみると前半のスピード感だと思います。そこに日本人がどのようについていけるのか見て頂きたいです。また、もし前半離されてもラスト10台目のハードルを越えるまで、むしろゴールするまでどうなるかわからない。見逃さないで見て頂けたら嬉しいです。
- ③夢は諦めてはいけません。どのような形で目標を達成することは大切かと思う。それが小さなことでもその一つの成功が大きな成功へとつながっていくと思います。もし、一人でダメだったら友達、家族いろいろな人に協力、サポートしてもらうことで達成することができるかもしれない。自分を信じて、そして周りを信じてやることで不可能なことも可能になると思います。
- ④プリン ⑤平常心



松下 祐樹 (マツタテ ユウキ)
過去出場年：初出場
所属：ミズノ 登録陸協：神奈川
生年月日：1991/9/9
身長/体重：176 / 64
資格記録：49.10 資格種目：400mH
出身：国府津中学校 (所属部：陸上競技部/指導者：岩瀬多三恵) →小田原高校 (所属部：陸上競技部/指導者：室橋富美夫) →順天堂大学 (所属部：陸上競技部/指導者：林田章紀)

- ①初めてのオリンピック出場なので、とにかくスポーツの祭典を楽しみたいと思います！その中で、400mH日本人初のファイナリストになれるよう、全力を尽くします！
- ②スピード感のあるハードリング、ゴールするまで誰か勝つか分からない緊張感、前半型の選手や後半型の選手の駆け引き、ラストの直線を死に物狂いで走る勝負には手に汗握ります！
- ③4年前のロンドン五輪の時には、まさか自分が4年後のオリンピックに出場しているなんて思いもしませんでした。日々の努力で一步一步でも成長していけりつの間にか夢に到達出来ると思います！
- ④必ずしも前日とは限りませんが、大会直前に必ず馬刺しを食べます。

- ⑤ダメでも良いじゃないか。死ぬわけじゃあるまいし



長谷川 大悟 (ハセガワ ダイゴ)
過去出場年：初出場
所属：日立ICT 登録陸協：神奈川
生年月日：1990/2/27
身長/体重：173 / 60
資格記録：16.88 資格種目：三段跳
出身：橘中学校 (所属部：陸上競技部/指導者：加藤智明) →桐蔭学園高校 (所属部：陸上競技部/指導者：丹野博昭、八木祐介) →東海大学 (所属部：陸上競技部/指導者：植田恭史、八木祐介)

- ①日本記録更新、決勝進出
- ②記録を出すためには、走り、筋力、跳躍力、度胸など、多くの要素が必要である奥深さ。
- ③自分を信じ続けること、まわりの応援を大切にすることが、大きな結果を生むと思います。
- ④バスタ・しゃぶしゃぶ・お好み焼き
- ⑤勝って驕らず、負けて腐らず。人間本気になれば大差なし。



山下 航平 (ヤマシタ コウヘイ)
過去出場年：初出場
所属：筑波大学 登録陸協：福島
生年月日：1994/9/6
身長/体重：179 / 69
資格記録：16.85 資格種目：三段跳
出身：福島大学附属中学校 (所属部：陸上競技部/指導者：小林修、古川真理子) →橘高校 (所属部：陸上競技部/指導者：菊池雄大)

- ①日本の代表としての自覚を持ち、まずは自分のパフォーマンスを最大限に発揮することが目標です。そして人生初の国際大会ということで、世界最高峰の舞台がどんなものなのかしっかりと肌で感じ、4年後の2020東京に向けての糧としたいと思います。
- ②3つの跳躍がしっかりとそい大ジャンプが決まった時は、跳んだ選手はもちろん見ているほうも気持ちの良い爽快感を感じられるはずです。
- ③夢のようなことでも、地道に続けていけばいつしか目標に代わる時が来ます。将来何か起こるのかは誰にもわかりません
- ④特にこれといったものはありません。その時食べたいものを食べます。
- ⑤「嫉妬こそ努力の根源」



衛藤 昂 (エトウ タカシ)
過去出場年：初出場
所属：AGF 登録陸協：三重
生年月日：1991/2/5
身長/体重：183 / 67
資格記録：2.29 資格種目：走高跳
出身：鈴鹿市立白子中学校 (所属部：陸上競技部/指導者：山口秀人、谷映親) →鈴鹿工業高等専門学校 (所属部：陸上競技部/指導者：船越一彦) →筑波大学大学院 (所属部：陸上競技部/指導者：大山下圭悟)

- ①決勝進出！
- ②バーが「残るか落ちるか」結果が一目瞭然、クリアできた瞬間の達成感がなにより喜びです。
- ③鈴鹿高専出身という環境からオリンピック出場を決めることができました。チャンスは誰にでもあると思います。環境に関わらず、高みを目指して頑張ってください。
- ④夕食は特になし、大会当日はカステラ
- ⑤不器用の一心 / 実るほど頭を垂れる稲穂かな



山本 聖途 (ヤマモト セイト)
過去出場年：2012
所属：トヨタ自動車 登録陸協：愛知
生年月日：1992/3/11
身長/体重：181 / 70
資格記録：5.77 資格種目：棒高跳
出身：岩津中学校 (所属部：陸上部/指導者：市川陽明) →岡崎城西高校 (所属部：陸上部/指導者：若林綱洋)

- 中京大学 (所属部：陸上部/指導者：安藤好郎)
- ①自己ベスト更新して8位入賞
- ②助走のスピード ③出来ると思えば出来る



荻田 大樹 (オギタ ヒロキ)
過去出場年: 初出場
所属: ミズノ 登録陸協: 香川
生年月日: 1987/12/30
身長/体重: 186 / 80
資格記録: 5.70 資格種目: 棒高跳
出身: 大野原中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 西野和宏) → 観音寺第一高校 (所属部: 陸上部/指導者: 詫間茂)

- 関西学院大学 (所属部: 陸上部/指導者: 杉本誠)
- ①初めてのオリンピックの舞台なので、まずは全力で楽しんできたいと思います。そして、オリンピックにただ参加するのではなく、勝負してきたと胸を張って帰れる様に決勝の舞台で勝負する事を目標にしています。
 - ②何と言っても普通では考えられないような高さまで一気に飛び上がるダイナミックさが棒高跳の魅力です。街の信号機くらいの高さは軽々跳び越えてしまいます。
 - ③オリンピック選手も最初は「凡人」です。挑戦する事を諦めずに1歩ずつ積み重ねてきた事が大きな結果を生むという事を心に留めて頑張りましょう!
 - ④特にありませんが、栄養のバランスを考えた中でその時食べたいものを食べるようにしています。
 - ⑤「一期一会」出会ったすべての人たちに「感謝」



澤野 大地 (サワノ ダイチ)
過去出場年: 2004 / 2008
所属: 富士通 登録陸協: 千葉
生年月日: 1980/9/16
身長/体重: 182 / 74
資格記録: 5.75 資格種目: 棒高跳
出身: 印西中学校 (所属部: 陸上競技部/指導者: 岩井浩) → 成田高校 (所属部: 陸上競技部/指導者: 越川一家)

- 日本大学 (所属部: 陸上競技部/指導者: 澤村博)
- ①自身3度目のオリンピックになるが、ここまで支えてくださった方々、応援してくださっている方々への感謝の思いを胸に戦いたい。
 - ②陸上競技で唯一の道具を使う高跳。ポール一本で身長は何倍もの高さを超える華麗な跳躍をぜひ見てください。
 - ③好きこそ物の上手なれ。自分のやっている競技を大好きになってください。
 - ④肉 ⑤克己



新井 涼平 (アライ リョウヘイ)
過去出場年: 初出場
所属: スズキ浜松AC 登録陸協: 静岡
生年月日: 1991/6/23
身長/体重: 183 / 96
資格記録: 84.66 資格種目: やり投
出身: 長静町立長静中学校 → 皆野高校 (所属部: 陸上部/指導者: 福島壮彦) → 国士館大学 (所属部: 陸上部/

- 指導者: 岡田雅次)
- ①90m以上投げずメダル獲得!!
 - ②槍がきれいに遠くに飛んでいく美しさを見てほしい。
 - ③自分自身のやる気と気持ちで夢や目標はなんでも叶うと思います。全力で練習に取り組み、試合ではおもいっきり楽しんでください!
 - ④うどん ⑤全力



中村 明彦 (ナカムラ アキヒコ)
過去出場年: 2012
所属: スズキ浜松AC 登録陸協: 静岡
生年月日: 1990/10/23
身長/体重: 181 / 74
資格記録: 8180 資格種目: 十種競技
出身: 岡崎市立六ツ美北中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 山本先生) → 岡崎城西高校 (所属部: 陸上競技部/指導者: 夏目先生) → 中京大学 (所属部: 陸上競技部/指導者: 本田陽)

- ①ロンドン五輪の十種競技、スタジアムでは棒高跳が行われていました。デカスリートたちが8万人の観客を巻き込んで競技する姿に自分も一観客として感動していました。そして、自分もそこで競技すると心に誓ってトレーニングしてきました。リオでは1つ1つの種目を丁寧に、自分らしい十種競技をして少しでも見せ場を作れるよう、自己ベスト更新を目指して頑張ります。
- ②1つの身体で走・跳・投をこなす姿。2日間共に戦った競技者の一体感と、完走した選手全員がウィニングランできる事。

- ③自分の可能性はどんな所に隠れているかわかりませんが、失敗を恐れず色々なスポーツ・種目にチャレンジしましょう!!
- ④いろいろ ⑤正しい努力の積み重ね。



右代 啓祐 (ウシロ ケイスケ)
過去出場年: 2012
所属: スズキ浜松AC 登録陸協: 静岡
生年月日: 1986/7/24
身長/体重: 196 / 95
資格記録: 8160 資格種目: 十種競技
出身: 大麻東中学校 (所属部: 陸上競技部/指導者: 川村龍彦) → 札幌第一高校 (所属部: 陸上競技部/指導者: 大町和敏) → 国士館大学 (所属部: 陸上競技部/指導者: 岡田雅次)

- ①2大会目のオリンピックなので、いままで経験してきたことをしっかりと成果に繋がりたいと思います。自己ベスト更新、8位入賞を目指して、最後まで諦めない姿を見ていただきたいです。
- ②196センチの体格で走、投、跳のあらゆる種目ができる運動神経の良さに注目していただきたいです。特に投てき種目が得意なので、スッキリする一投を楽しみにしていただきたいと思います。
- ③中高生の皆さんは無限の可能性を秘めていると思います。どんな壁にぶち当たってもそれを突き破る気持ちで挑戦し続けてください。
- ④特になし ⑤弱点は最大の伸びしろ

●女子



福島 千里 (フクシマ チサト)
過去出場年: 2008 / 2012
所属: 北海道ハイテクAC 登録陸協: 北海道
生年月日: 1988/6/27
身長/体重: 166 / 52
資格記録: 11.23/22.88 資格種目: 100m/200m
出身: 暮別町立糠内中学校 → 帯広南商業高校 (所属部: 陸上競技部/指導者: 辻吉則) → 北海道ハイテクノロジ

- 一専門学校)
- ①3度目の正直という言葉もあるので結果にこだわって過去最高の納得いくレースができるように頑張ります。
 - ②世界で一番足の速い女性が決まるカッコイイ姿が見られます。
 - ③昨日の自分よりも速く走る、昨日の自分よりもいい練習をする。毎日毎日の積み重ねが大切です。
 - ④ありません。



尾西 美咲 (オニシ ミサキ)
過去出場年: 初出場
所属: 積水化学 登録陸協: 千葉
生年月日: 1985/2/24
身長/体重: 164 / 45
資格記録: 15.16.82 資格種目: 5000m
出身: 小俣中学校 (所属部: 陸上部/指導者: 福井清) → 宇治山田商業高校 (所属部: 陸上部/指導者: 山本顕)

- ①思いきった走りができるようにしっかりと準備して、まずは予選を通過できるように頑張ります。
- ②駆け引きや短距離走のようなラストスパートが見えておもしろいと思います。
- ③私は中高生の時に目立った成績などはありません。それでもこういう舞台に立てるようになったので、誰にでも可能性やチャンスはあるんだって事を伝えたいです。



鈴木 亜由子 (スズキ アユコ)
過去出場年: 初出場
所属: 日本郵政グループ 登録陸協: 東京
生年月日: 1991/10/08
身長/体重: 154 / 38
資格記録: 15.08.29/31.18.16 資格種目: 5000m/10000m
出身: 豊橋市立豊城中学校 (所属部: バスケットボール部/指導者: 杉浦秀典) → 時習館高校 (所属部: 陸上部/指導者: 大羽謙祐) → 名古屋大学 (所属部: 陸上部/指導者: 金尾洋治)

- ①納得のいく走りをして入賞、楽しむ!
- ②自分の長所を最大限に生かしたレースをした人が勝てる所。
- ③あまり頑張り過ぎず自分の体を大切にしながら取り組んでください。競技への情熱を持ち続けることが将来に繋がると思います。

④お米 ⑤得意淡然、失意泰然



上原 美幸 (ウエハラ ミユキ)
過去出場年：初出場
所属：第一生命グループ 登録陸協：東京
生年月日：1995/11/22
身長/体重：154 / 39
資格記録：15.21.40 資格種目：5000m
出身：皇徳寺中学校 (所属部：陸上競技部) → 鹿児島女子高校 (所属部：陸上競技部/指導者：立迫俊憲)

- ①リオデジャネイロオリンピックという大舞台で自己ベストの走りをして決勝に進めるように頑張ります。
- ②駆け引きとラストスパートです。速いペースで走った後のラストスパートは魅力です。
- ③夢、目標を信じて諦めずに頑張ってください。
- ④うなぎ ⑤自分らしく/信念



関根 花観 (セキネ ハナミ)
過去出場年：初出場
所属：日本郵政グループ 登録陸協：東京
生年月日：1996/2/26
身長/体重：156 / 43
資格記録：31.48.90 資格種目：10000m
出身：金井中学校 (所属部：陸上部/指導者：山口智美) → 豊川高校 (所属部：駅伝部/指導者：森安彦)

- ①チャレンジ精神で積極的なレースをして、少しでも上位に食い込めるようにしたい。
- ②10000mは駆け引きと粘り強さを活かすことができる競技だと思う。自分の持ち味である粘り強さで頑張ります。
- ③自分の目標に向けて、諦めずに頑張ってください。 ④うなぎ ⑤継続は力なり



高島 由香 (タカシマ ユカ)
過去出場年：初出場
所属：資生堂 登録陸協：東京
生年月日：1988/5/12
身長/体重：153 / 40
資格記録：31.35.76 資格種目：10000m
出身：国府中学校 (所属部：陸上部/指導者：荒瀬先生) → 興譲館高校 (所属部：陸上部/指導者：森政芳寿)

- ①オリンピックにただ出場したというだけじゃなく、世界と戦って入賞できるように頑張ります。積極的に勝負にこだわるレースが出来るようにしたいです。ずっと夢だったオリンピックという舞台で走れることをすごく嬉しく思います。やってきたことを最大限だしきれようになりたいと思います。
- ②400mを25周するトラック競技の中では一番長く走る競技ですが序盤から後半にかけてペースが上がりどこで勝負をかけるかは、選手一人一人の持ち味によって異なるので、他の選手との駆け引きが何度も見られる競技です。
- ③何度も諦めかけた夢をこうして実現できたことで、『苦しい時こそ諦めずひたむきに頑張れば夢は叶う』という事を改めて実感しました。苦しい事を経験した分人は強くなれると思うので、夢をもって諦めず頑張ってください。
- ④うなぎ ⑤継続は力なり



高見澤 安珠 (タカミザワ アンジュ)
過去出場年：初出場
所属：松山大学 登録陸協：愛媛
生年月日：1996/3/6
身長/体重：165 / 51
資格記録：9.44.22 資格種目：3000mSC
出身：矢野中学校 (所属部：陸上競技部/指導者：榎本善広) → 津商薬高校 (所属部：陸上競技部/指導者：古保達也)

- ①今回のオリンピックは初めての世界大会となります。現時点での世界との差は大きいですが、挑戦者という気持ちで積極的なレースをし、決勝進出を目指します。また4年後東京オリンピックに繋がる良い経験をさせていただきます。
- ②3000mSCは、3000mを走る間に28回の障害と7回の水濼を超えてゴールを目指す種目です。後半になるにつれ乳酸や疲労が大きくなっていきます。特に水濼は迫力があり見所。私は水濼が得意なので注目していたいただけと嬉しです。
- ③私は中学・高校時代は先生にたくさん迷惑をかけました。でも先生を信じて頑張った時は良い記録が出ましたし、今回オリンピックに出場することが出来ます。先生を信じて一生懸命練習したら夢は叶えられると思います。
- ④お米 ⑤一生懸命、感謝・無心・笑顔



久保倉 里美 (クボクラ サトミ)
過去出場年：2008 / 2012
所属：新潟アルビレックスRC 登録陸協：新潟
生年月日：1982/4/27
身長/体重：161 / 52
資格記録：56.14 資格種目：400mH
出身：旭川市立緑が丘中学校 (所属部：バスケットボール) → 旭川北高校 (所属部：陸上競技部/指導者：前田文男)

- 福島大学 (所属部：陸上競技部/指導者：川本和久)
- ①過去2大会は本番でSBを出して予選を突破しているので、今回もまずは最初にSBをしっかり出して準決勝で自分のレースが出来るように頑張りたいです。
- ②展開が個人によって大きく違うので最後の最後まで目が離せない!
- ③高校時代の実績がなくても、諦めずに積み重ねることができればきっと大きな花を咲かせる事ができると思います。夢が叶うその日まで一生懸命頑張りますよ!
- ④特にゲンには担ぎませんが、食べ物でお腹を壊しやすいので気をつけるようにしています。
- ⑤夢はでっかく、根は深く!



甲斐 好美 (カイ コノミ)
過去出場年：初出場
所属：VOLVER 登録陸協：埼玉
生年月日：1993/7/10
身長/体重：153 / 50
資格記録：6.84 資格種目：走幅跳
出身：日向学院中学校 (所属部：バスケットボール) → 日向学院高校 (所属部：陸上)

- ①肉体の限界のパフォーマンスをする。
- ②一発かかると1m記録が変わるところ
- ③自分1割、指導者9割だと私は思う
- ④焼肉
- ⑤Compromise is the dirtiest word for me. (僕にとって妥協は最も汚い言葉だ) - Freddie Mercury



海老原 有希 (エビハラ ユキ)
過去出場年：2012
所属：スズキ浜松AC 登録陸協：静岡
生年月日：1985/10/28
身長/体重：164 / 68
資格記録：63.80 資格種目：やり投
出身：上三川町立上三川中学校 (所属部：バスケットボール) → 真岡女子高校 (所属部：陸上競技部/指導者：増淵忍) → 真岡女子高校 (所属部：陸上競技部/指導者：渡辺方夫)

- 国士館大学 (所属部：陸上競技部/指導者：岡田雅次)
- ①自分らしい思い切りのいい投げをして、入賞を目指します。
- ②様々な助走から投げ放たれるやりの軌道に注目してほしいです。
- ③目標や夢の達成の為に一日一日を大切に過ごして下さい。
- ④米。前日の夕食が当日に食べます。
- ⑤弱気は最大の敵



岡田 久美子 (オカダ クミコ)
過去出場年：初出場
所属：ビックカメラ 登録陸協：埼玉
生年月日：1991/10/17
身長/体重：158 / 47
資格記録：1.29.40 資格種目：20km競歩
出身：上尾東中学校 (所属部：陸上部/指導者：福田哲) → 熊谷女子高校 (所属部：陸上部/指導者：日下部秀一)

- 立教大学 (所属部：陸上部/指導者：原田昭夫)
- ①幼い頃からの夢であったオリンピックの舞台に立てる幸せを感じながら、入賞目指して全力を尽くします。応援宜しくお願いいたします。
- ②速くてもルールに違反して失格してしまったり、駆け引きがあったり、最後までハラハラドキドキでわからないところ。
- ③競技を続けていくと、必ず伸び悩む時期がくるとはありますが、自分がどうなりたかを毎日イメージし続けて、コツコツ練習してほしい。
- ④焼きうどん ⑤日進月歩

第3回日中韓3カ国交流陸上競技大会報告

日時：平成28年7月3日（日）

場所：金泉市（韓国）

大会概要：

3年前に東アジア三カ国の交流を目的とした陸上競技会として実施されて以来、昨年の北海道（厚別）に続き、今年度は韓国の金泉市で開催された。日本選手権終了後から8月に実施される世界選手権やオリンピックなどのファイナルエントリーまでに実施される貴重な国際大会であり、強化戦略の面でも重要な意味を持つ大会である。今年も、第31回オリンピック競技大会の標準記録突破、およびリレー種目では出場権を獲得に向けた世界ランキングの向上を目指して、日本選手権終了時点でオリンピックの代表に内定しなかった選手らを含んだ、選手団を編成した。

なお、実施された個人種目は、男子では100m、400m、110mH、走幅跳、棒高跳、やり投で、女子では200m、800m、400mH、走高跳、三段跳、やり投であった。リレー種目は4×100mRおよび4×400mR（男子4×400mR及び女子4×100mRはオープン種目）ともに実施された。

日本代表選手とその結果：

表に日本代表選手とその結果の一覧を示した。前述のように、オリンピックの参加標準記録突破やリレー種目における世界ランキングの向上を目指したが、競技会の中盤から雨が強まり、残念ながら個人種目のオリンピック参加標準記録突破ならびにリレー種目の世界ランキングの向上は達成できなかった。

本競技会では、1位に10ポイント（pt）、2位に8pt、3位に7pt、4位に6pt、5位に5pt、6位に4ptを与えて、国別対抗得点を競った。その結果、男子は日本が95ptで1位、韓国が82ptで2位、中国が76ptで3位であった。また、女子は、中国が111ptで1位、日本が79ptで2位、韓国が64ptで3位であった。さらに、男女の合計では、中国が187ptで1位、日本が174ptで2位、韓国

が146ptで3位であった。全体の結果を概観してみると、女子では中国の選手層の厚さを再認識するに至った。一方、男子では中国はオリンピックを控えている中、若手を中心に構成されているように感じたが、その事実を考慮したとしても日本選手団の10個のメダル獲得は、リオデジャネイロオリンピックの先を見据えた強化としても期待できるものである。

次回大会に向けて：

来年度は第4回大会を迎え、第1回大会を実施した中国にて開催される。時期については、これまでと同様に日本選手権後から世界大会のファイナルエントリーまでの間の期間で調整されるであろう。大会概要でも示したが、この時期に行われることで、日本選手権終了時点までに世界大会の選考基準を満たすことができなかった選手にとって、望みをつなげる有益な競技会となっている。また、各種目2人ずつ派遣できる大会であるため、ベテランと今後活躍を期待したい若手と組み合わせるなど、今後活躍を期待したい若手競技者に、世界選手権やオリンピックを経験する前に国際大会を経験させる場としても、良いレベルの大会といえる。

日本、中国、韓国それぞれの国で派遣の意図は少しずつ異なる大会ではあるが、この3ヶ国がアジアのリーダーとなり、アジアの競技レベルを引き上げていくためにも、戦略的に派遣していきたい大会である。



第3回日中韓3カ国交流陸上競技大会 日本代表選手

【男子】19名

種目	名前	フリガナ	所属		備考
100m	大瀬戸一馬	オオセト カズマ	福岡	法政大学	※1
100m	馬場 友也	ババトモヤ	北海道	LALL AC	※1
400m	藤原 武	フジワラ タケシ	東京	ユメオミライ	
400m	堀井 浩介	ホリイ コウスケ	埼玉	城西大学	
110mH	増野 元太	マスノ ゲンタ	東京	モンテローザ	
110mH	大室 秀樹	オオムロ ヒデキ	徳島	大塚製薬	
走幅跳	毛呂 泰紘	モロ ヤスヒロ	千葉	順天堂大学	
走幅跳	下野伸一郎	シモノ シンイチロウ	福岡	九電工	
棒高跳	笹瀬 弘樹	ササセ ヒロキ	静岡	ススキ浜松AC	
棒高跳	来間 弘樹	クルマ コウキ	島根	順天堂大学	
やり投	長谷川 鉦平	ハセガワ コウヘイ	福井	福井陸協	
やり投	小南 拓人	コミナミ タクト	北海道	国土館大学	
4×100mリレー	原 翔太	ハラ ショウタ	静岡	ススキ浜松AC	
4×100mリレー	谷口耕太郎	タニグチ コウタロウ	神奈川	中央大学	
4×400mリレー	ウォルシュ ジュリアン	ウォルシュ ジュリアン	埼玉	東洋大学	
4×400mリレー	加藤 修也	カトウ ノブヤ	静岡	早稲田大学	
4×400mリレー	北川 貴理	キタガワ タカマサ	福井	順天堂大学	
4×400mリレー	田村 朋也	タムラ トモヤ	兵庫	住友電工	
4×400mリレー	佐藤拳太郎	サトウ ケンタロウ	埼玉	城西大学	

【女子】20名

種目	名前	フリガナ	所属		備考
200m	福島 千里	フクシマ チサト	北海道	北海道ハイテクAC	※1
200m	三宅奈緒香	ミヤケ ナオカ	兵庫	住友電工	
800m	山田 はな	ヤマダ ハナ	新潟	東京学芸大学	
800m	卜部 蘭	ウラベラン	東京	東京学芸大学	
400mH	田子 雅	タゴ ミヤビ	東京	ニシ・スポーツ	
400mH	藤原 未来	フジワラ ミク	兵庫	住友電工	
走高跳	仲野 春花	ナカノ ハルカ	福岡	早稲田大学	
走高跳	石岡 柚季	イシオカ ユズキ	宮城	日本女子体育大学	
三段跳	宮坂 楓	ミヤサカ カエデ	神奈川	ニッパツ	
三段跳	坂本 絵梨	サカモト エリ	東京	東京陸協	
やり投	宮下 梨沙	ミヤシタ リサ	大阪	大体大T.C	
やり投	久世 生宝	クゼ キホウ	岡山	筑波大学	
4×100mリレー	齋藤 愛美	サイトウ アミ	岡山	倉敷中央高校	
4×100mリレー	世古 和	セコ ノドカ	三重	乗馬クラブクレイン	
4×100mリレー	エドバー イヨバ	エドバー イヨバ	東京	日本大学	
4×100mリレー	市川 華菜	イチカワ カナ	愛知	ミズノ	※2
4×400mリレー	青山 聖佳	アオヤマ セイカ	島根	大阪成蹊大学	
4×400mリレー	青木 りん	アオキ リン	神奈川	相洋高等学校	
4×400mリレー	石塚 晴子	イシヅカ ハルコ	大阪	東大阪大学	
4×400mリレー	吉良 愛美	キラ マナミ	東京	アットホーム	

※1 4×100mRを兼ねる

※2 4×400mRを兼ねる

第3回日中韓3カ国交流陸上競技大会 (2016/金泉) 日本選手リザルト

No.	競技種目	氏名	所属	自己ベスト	日付	決勝
1	100m	大瀬戸一馬	法政大学	10.19	7/3	10.37 (+1.6) 金メダル
2	100m	馬場 友也	LALL AC	10.34	7/3	10.42 (+1.6) 4位
3	400m	藤原 武	ユメオミライ	45.44	7/3	46.60 銀メダル
4	400m	堀井 浩介	城西大学	45.85	7/3	47.02 銅メダル
5	110mH	大室 秀樹	大塚製薬	13.54	7/3	13.62 (+1.7) 銀メダル
6	110mH	増野 元太	モンテローザ	13.51	7/3	13.77 (+1.7) 4位
7	走幅跳	毛呂 泰紘	順天堂大学	7.84	7/3	7.59 (0.0) 銅メダル
8	走幅跳	下野伸一郎	九電工	8.11	7/3	7.54 (+0.2) 4位
9	棒高跳	笹瀬 弘樹	スズキ浜松AC	5.51	7/3	5.40 銀メダル
10	棒高跳	来間 弘樹	順天堂大学	5.40	7/3	5.40 銅メダル
11	やり投	長谷川鉦平	福井陸協	81.55	7/3	73.76 銅メダル
12	やり投	小南 拓人	国士舘大学	75.29	7/3	71.16 5位
13	4×100mR	オーダー		—	7/3	38.77 金メダル
		馬場友也—谷口耕太郎—大瀬戸一馬—原翔太				
14	4×400mR	オーダー		—	7/3	3 : 04.62 金メダル
		田村朋也—ウォルシュ ジュリアン—北川貴理—加藤修也				
15	200m	福島 千里	北海道ハイテクAC	22.88	7/3	23.27 (+0.7) 金メダル
16	200m	三宅奈緒香	住友電工	24.03	7/3	24.26 (+0.7) 4位
17	800m	卜部 蘭	東京学芸大学	2:04.86	7/3	2:07.15 銅メダル
18	800m	山田 はな	東京学芸大学	2:06.00	7/3	2:07.23 4位
19	400mH	藤原 未来	住友電工	57.71	7/3	59.51 銅メダル
20	400mH	田子 雅	ニシ・スポーツ	55.99	7/3	DNF
21	走高跳	仲野 春花	早稲田大学	1.80	7/3	1.78 5位
22	走高跳	石岡 柚季	日本女子体育大学	1.79	7/3	1.70 6位
23	三段跳	宮坂 楓	ニッパツ	13.44	7/3	13.16 (-0.1) 銀メダル
24	三段跳	坂本 絵梨	東京陸協	13.17	7/3	12.85 (+0.7) 4位
25	やり投	宮下 梨沙	大体大T.C	60.08	7/3	57.77 銅メダル
26	やり投	久世 生宝	筑波大学	58.98	7/3	52.60 5位
27	4×100mR	オーダー		-	7/3	44.84 金メダル
		齋藤愛美—福島千里—世古和—エドバー イヨバ				
28	4×400mR	オーダー		-	7/3	3:34.71 銀メダル
		青山聖佳—市川華菜—青木りん—吉良愛美				

科学委員会活動報告(日本グランプリシリーズ、日本選手権など)

科学委員長 杉田 正明

1. 活動内容

科学委員会では、本年度も競技会(トラック&フィールド)におけるパフォーマンスデータの収集を行っている。本年度において現在まで下記の競技会におけるデータの収集、分析およびフィードバックを実施しているところである。各種目担当の強化委員と連携して、データのフィードバックを行なっている。

- 1) 兵庫リレーカーニバル(神戸) 4月24日 中長距離
- 2) 織田記念陸上(広島) 4月29日 短距離・障害、跳躍、投擲
- 3) 日本選抜陸上和歌山(和歌山) 4月30、5月1日 混成競技
- 4) 静岡国際(袋井) 5月3日 短距離・障害、中距離、跳躍
- 5) セイコーゴールデングランプリ川崎 5月8日 短距離・障害、中距離、跳躍、投擲
- 6) 日本選手権混成(長野) 6月11~12日 混成

競技

- 7) 日本選手権(愛知) 6月24~26日 短距離・障害、中距離、跳躍、投擲
- 8) 南部忠平記念(厚別) 7月10日 短距離・障害、跳躍

本委員会では各種目等の主担当を配置し、強化委員会と連携し、競技会でのパフォーマンス分析データのフィードバックを実施している。各担当者は以下の通りである。

【種目担当者】

短距離：広川龍太郎(東海大学)、ハードル：貴嶋孝太(大阪体育大学)、中・長距離：榎本靖士(筑波大学)、マラソン：杉田正明(三重大学)、競歩：三浦康二(成蹊大学)、跳躍：小山宏之(京都教育大学)、投擲：田内健二(中京大学)、混成：松林武生(国立スポーツ科学センター)、ジュニア：持田尚(帝京科学大学)、タレントトランスファー：森丘保典(日本大学)

表1 2016年 日本選手権 男子100m 決勝レース分析個人別結果表(記録順)

氏名	ラウンド	記録		最高スピード		出現区間		出現時間		スピード 低減率	通過時間、区間通過時間、区間スピード									
		m/s	s	m/s	m	s	%	項目	10m		20m	30m	40m	50m	60m	70m	80m	90m	100m	
ケンブリッジ 飛鳥	FI	-0.3	10.16	11.40	60m-70m	7.00	5.3	通過時間(s)	1.90	1.90	2.95	3.90	4.80	5.69	6.57	7.44	8.33	9.23	9.93	10.16
								区間時間(s)	1.90	1.05	0.95	0.90	0.89	0.88	0.88	0.89	0.90	0.88	0.89	0.90
ケンブリッジ 飛鳥	SF	-0.3	10.25	11.32	50m-60m	6.18	4.4	通過時間(s)	1.91	1.91	2.97	3.94	4.85	5.74	6.62	7.51	8.41	9.33	9.93	10.25
								区間時間(s)	1.91	1.07	0.96	0.91	0.89	0.88	0.89	0.90	0.91	0.91	0.92	0.92
ケンブリッジ 飛鳥	RI	-1.4	10.35	11.15	60m-70m	7.13	3.7	通過時間(s)	1.95	1.95	3.00	3.97	4.89	5.79	6.68	7.58	8.49	9.42	9.93	10.35
								区間時間(s)	1.95	1.05	0.97	0.92	0.90	0.90	0.90	0.91	0.91	0.92	0.93	0.93
山縣 亮太	FI	-0.3	10.17	11.31	50m-60m	6.10	5.1	通過時間(s)	1.88	1.88	2.93	3.87	4.76	5.65	6.54	7.43	8.33	9.24	9.93	10.17
								区間時間(s)	1.88	1.04	0.94	0.89	0.89	0.88	0.89	0.90	0.90	0.91	0.91	0.92
山縣 亮太	SF	-1.4	10.26	11.16	40m-50m	5.25	4.3	通過時間(s)	1.90	1.90	2.94	3.89	4.80	5.70	6.60	7.49	8.40	9.32	9.94	10.26
								区間時間(s)	1.90	1.04	0.94	0.92	0.90	0.90	0.90	0.91	0.91	0.91	0.92	0.92
山縣 亮太	RI	-1.4	10.49	11.01	40m-50m	5.32	8.2	通過時間(s)	1.93	1.93	2.98	3.95	4.87	5.77	6.69	7.61	8.55	9.50	9.99	10.49
								区間時間(s)	1.93	1.05	0.97	0.92	0.91	0.91	0.92	0.93	0.93	0.94	0.96	10.49
桐生 祥秀	FI	-0.3	10.31	11.24	40m-50m	5.23	10.4	通過時間(s)	1.90	1.90	2.94	3.88	4.78	5.67	6.57	7.47	8.38	9.32	9.99	10.31
								区間時間(s)	1.90	1.04	0.94	0.90	0.89	0.89	0.89	0.90	0.90	0.91	0.91	0.94
桐生 祥秀	SF	-1.4	10.29	11.14	50m-60m	6.16	5.4	通過時間(s)	1.89	1.89	2.94	3.89	4.81	5.71	6.61	7.51	8.42	9.34	9.94	10.29
								区間時間(s)	1.89	1.05	0.95	0.92	0.90	0.90	0.90	0.91	0.91	0.91	0.92	0.95
桐生 祥秀	RI	-1.3	10.37	11.20	40m-50m	5.31	8.4	通過時間(s)	1.95	1.95	3.00	3.94	4.86	5.76	6.66	7.55	8.47	9.39	9.99	10.37
								区間時間(s)	1.95	1.05	0.95	0.92	0.89	0.90	0.90	0.90	0.92	0.93	0.93	10.37

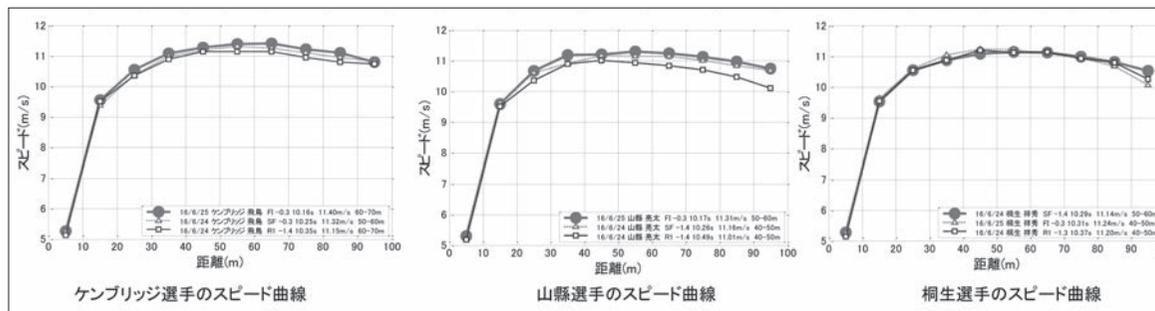


図1

2. 競技会におけるパフォーマンスデータの事例紹介

図1と表1は、日本選手権男子100m決勝における上位3人のパフォーマンスデータを示している。これらのデータのうち10秒16で優勝したケンブリッジ飛鳥選手（ドーム）は、最高スピードが60-70m区間で11.40m/秒を記録しており、2位の山縣亮太選手（SEIKO）（50-60m区間で11.31m/秒）、3位の桐生祥秀選手（東洋大学）（40-50m区間で11.24m/秒）よりも高い最高スピードを示していた。やはり最高スピードが高いと記録（順位）も良いことがわかる。また準決勝のレースにおいて、ケンブリッジ選手の記録は10秒25であり、この時の最高スピードは50-60m区間で11.32m/秒を記録し、山縣選手（10秒26：40-50m区間で11.16m/秒）、3位の桐生選手（10秒29：50-60m区間で11.14m/秒）よりも高い最高スピードを示していた。準決勝ではこの3名が10秒2台後半の記録であったが、ケンブリッジ選手の最高スピードの高さは準決勝のレースでも高い値を示していた。こうした競技会におけるパフォーマンス分析は、同じ水準の記録であっても質的な部分での選手個々の特性・特徴を可視化することができ、選手のその時々々の状態を現わす指標にもなり得るといえよう。

次に、女子200m決勝のデータを表2、図2に示した。比較のため2014年からの福島選手のデータも併せて載せることにする。22秒88の日本新記録で優勝した福島千里選手（北海道ハイテクAC）は、最高スピードは55-80m区間で9.73m/秒を記録しており、これまで2大会時の同選手の値（2015：9.54m/秒、2014：9.48m/秒）よりも高い水準を示した。さらに、ほぼ全ての分析区間に渡ってこれまでよりもスピードの向上が図られていることがわかる。高校及びジュニア日本新記録（23.46秒）で2位に入った斎藤愛美選手（倉敷中央高）も55-80m区間で最高スピード9.56m/秒を示し、優勝した福島選手の値より低いものの2015年に福島選手が23秒23で優勝した際の9.54m/秒よりも高い値を示したことは特筆される点である。200mにおいても最高スピードはパフォーマンスに大きな影響を与える要素であるためである。前半と後半の100mの所要タイムをみると福島選手は11.46秒と11.42秒、

斎藤選手は11.75秒と11.71秒でいずれも後半の100mの方が0.04秒速い結果を示した。これらのことから個人の経年的な変化や他の選手との比較などから競技力アップの方向性を知ることができる。

3. 終わりに

上記以外の本年度の主な活動として、5月から競歩、マラソン（男・女）の暑熱対策及びコンディションサポートを強化し宿泊や国内外の大会の際に実施している。その中で、練習あるいは試合中の汗を特殊な方法で収集し、汗中の成分（電解質、ミネラル等）分析結果から選手個々の暑熱対策に資する情報提供を行っている。リオデジャネイロから東京オリンピックへ向けた幅広い包括的な支援活動をより一層、充実、発展させていく予定である。本委員会の活動成果の一部は報告レポートにまとめ、陸上競技研究紀要に毎年掲載している。さらに、バイオメカニクス研究活動報告書（インターハイ等）についても日本陸連のホームページに陸上競技研究紀要とともにアップされている。ぜひ、<http://www.jaaf.or.jp/t-f/index.html>をご参照ください。

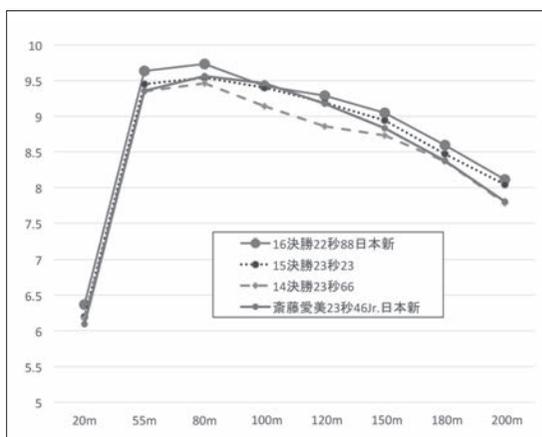


図2 日本選手権 200m 決勝レースのスピード曲線（福島選手、斎藤選手）



表2 日本選手権 女子200m 決勝レース分析結果（2014-2016 福島選手、2016 斎藤選手）

選手名	風 m/s	記録 s	最高スピード m/s	出現区間	通過時間、区間通過時間とスピード										前半 s	後半 s	前半-後半 s	後半/前半 %	
					項目	20m	55m	80m	100m	120m	150m	180m	200m	200m					
16福島千里	1.8	22.88 ※日本新	9.73	55-80m	time(s)	3.14	3.14	6.77	9.34	2.12	11.46	13.78	16.86	20.54	22.88	11.46	11.42	0.04	99.65
					lap time(s)	3.14	3.63	2.57	2.12	2.31	3.09	3.67	2.34						
					speed(m/s)	6.37	9.64	9.73	9.42	9.29	9.05	8.60	8.11						
15福島千里	0.1	23.23	9.54	55-80m	time(s)	3.22	3.22	6.93	9.55	2.12	11.67	14.01	17.14	20.87	23.23	11.67	11.56	0.11	99.05
					lap time(s)	3.28	3.71	2.62	2.12	2.34	3.13	3.73	2.36						
					speed(m/s)	6.20	9.45	9.54	9.40	9.19	8.94	8.47	8.04						
14福島千里	1.0	23.79	9.48	55-80m	time(s)	3.20	3.20	6.91	9.55	2.19	11.74	14.16	17.41	21.30	23.79	11.74	12.05	-0.32	102.73
					lap time(s)	3.20	3.71	2.64	2.19	2.43	3.25	3.89	2.49						
					speed(m/s)	6.24	9.44	9.48	9.14	8.86	8.58	8.12	7.63						
16斎藤愛美	1.8	23.46 ※Jr.日本新	9.56	55-80m	time(s)	3.28	3.28	7.02	9.64	2.11	11.75	14.10	17.26	21.03	23.46	11.75	11.71	0.04	99.65
					lap time(s)	3.28	3.74	2.61	2.11	2.34	3.16	3.77	2.43						
					speed(m/s)	6.09	9.36	9.56	9.46	9.17	8.83	8.38	7.81						

第204回国際陸上競技連盟(IAAF)カOUNシル会議 報告

会長 横川 浩

第204回国際陸上競技連盟カOUNシル会議が、2016年6月17日、モナコで開催されたので、国際陸上競技連盟(IAAF)のカOUNシルメンバーとして参加した。同会議の概要は以下の通りである。

1. Sebastian Coe会長の発言

IAAFは様々な改革に対して、積極的に取り組んでいる。厳しい状況は続いているが、それは変革を遂げる好機でもある。IAAFガバナンス体制の見直しが行われ、本会議で改革案が提示される。6月のガバナンス・フォーラムの開催、8月のカOUNシル会議での承認を経て、12月に臨時総会を開催し、加盟団体の承認を得る流れとなる。早急な導入が必要な提案については、2017年1月から、それ以外については2019年総会後の導入を検討している。

IAAFはドーピング問題に厳格に取り組み、スポーツの高潔性を守るために邁進している。本会議で、ロシア陸連の資格停止処分に関する調査部会の報告が行われるが、非常に難しい判断が予想される。世界中がその結論を注視しており、我々は、報告書を深く審議した上で、決定を導き出す必要がある。

世界室内選手権(ポートルランド)、世界ハーフマラソン選手権(カーディフ)、世界チーム競歩選手権(ローマ)、オリンピック・テストイベント(リオ)が成功裡に終了した。課題点は、今後の陸上競技会の発展に繋げていかなければならない。

2. Gracia事務総長の報告

コンペティション・コミッションは、U18世界選手権のIAAFシリーズに於ける戦略的価値について審議する。

ディベロプメント・コミッションは、キッズ・アスレティック・プログラムの影響力と価値について審議する。併せて、年次報告書の必要性や新たな報告の形態について検討する。

事務局は、新たな予算承認プロセスについて検討し、カOUNシル会議に提案する。

義足の優位性を調査する作業部会は調査を継続し、報告を行う。マルクス・レーム選手(ドイツ)については、優位性が無い事の証明は十分でないと判断した。

バングラデシュ、マレーシア、南スーダンが年次報告書を提出していないので、注意勧告を行う。

3. 国際競技会の報告

世界室内選手権(ポートルランド)は観客動員に成功し、大会進行等で新たな取り組みが行われた。(選手の入場方法、市内中心地に設置されたファンゾーンでの表彰式の実施等)

世界ハーフマラソン選手権(カーディフ)の参加国、参加選手数は減少したが、大会成績のレベルは高かった。初のロードランニングセミナーが実施され、29のラベリング大会から約100名が参加した。

世界チーム競歩選手権は4か月という短い準備期間にもかかわらず、大会運営に成功した。50km競歩レースに女子選手が1名参加し、制限時間内に完歩した。

オリンピック・テストイベント(リオ)では、準備が概ね順調に進んでいる事が確認されたが、オリンピックへ向けての課題点もあり、特に進行(イベントプレゼンテーション)については、IAAFが積極的なサポートを行う。

4. 今後の国際競技会

2017年世界クロスカントリー選手権(カンパラ)の準備は順調に進んでいるが、魅力的なコース内容への変更を依頼した。

2017年U18世界選手権(ナイロビ)については、ケニア陸連の体制変更に伴い、状況の把握に苦慮した。サイトビジットの結果、行政からのサポート体制が十分に得られると見込まれるが、今後も、LOCの運営、競技場の整備、宿泊調整、安全対策等の準備状況を注視していく。

2017年ロンドン世界選手権のタイムテーブルを一部変更する。男女マラソンの日程を変更し、8月6日の同日開催(男子10:55、女子14:00スタート)とし、競歩種目(男子50km、男・女20km)を8月13日の同日開催とする。

5. ガバナンス体制の改革

検討部会より次の提案が行われた。①コンGRESSを“IAAF及びスポーツの最高権威”の政策決定機関とする ②コンベンションを総会と同時開催する ③カOUNシルメンバーを“スポーツのガーディアン”とする ④Executive Board(EB・執行委員会)を“IAAFのガーディアン”とする ⑤会長を“スポーツ及びIAAFの顔”とする ⑥副会長を2名体制とする ⑦財務役員(Treasurer)を廃止し、CFOを任命する ⑧コミッティーを廃止し、コミッションの見直しを行う ⑨インテグリティ・チェックの導入を行う ⑩行動規範(Integrity Code of Conduct)の統一化を行う ⑪独立したインテグリティ・ユニットを設置する ⑫独立したDisciplinary Tribunal(懲戒審判所)を設置する ⑬外部監査組織を設置する ⑭Transparency Standards(透明性を保つための基準)を設定する

今後の流れとしては、6月のフォーラム、8月のカOUNシル会議、9月から10月にかけての各エリアでの説明会等を経て、12月開催予定の臨時総会で審議に諮る。提案内容は2017年1月1日から施行されるものと、2019年8月の総会以降に施行されるものに分かれる。

6. ロシア問題

ロシア問題調査部会の報告が行われ、ロシア陸連に対する資格停止処分は解除しない、と全会一致で決定した。IAAFはロシアによるドーピング対策に進展があった事を認めた上で、いまだドーピングの根深い文化が残っていること、効果的な反ドーピング体制の構築やロシアスポーツ省の取り組みが不十分であることから、資格停止処分を継続すると判断した。

競技規則21/22の改正が承認され、ロシア国外で一定期間以上活動し、組織的ドーピングに関与していないと明確に証明できる選手や、反ドーピング活動に貢献した選手は、個人の中立的な立場の選手として、国際大会出場を申請する事が出来る事とした。該当する選手は、Doping Review Boardに申請書を提出する必要がある。ユーリア・ステパノワ選手からの申請については、速やかに検討を行う。

資格停止期間中、ロシア陸連に所属する役員、審判、選手サポートスタッフ等は国際大会に参加出来ず、IAAF業務への関与を認めないとした。

調査部会は、ロシアが資格回復の条件を満たしているか、継続して調査を実施する。

IAAFスポーツ医学(予防及びリハビリテーション)セミナー参加報告

医事委員会トレーナー部委員 廣重 陽介

この度、国際陸上競技連盟 (IAAF) が主催する標記セミナーに参加させていただく機会を得たので、以下に報告をさせていただきます。

1. 名称

IAAF Sports Medicine (Prevention & Rehabilitation) Seminar 【スポーツ医学 (予防及びリハビリテーション) セミナー】

2. 会場

IAAF RDC Beijing 【IAAF 地域普及センター北京】 (北京体育大学内、中国・北京)

講義棟、室内陸上競技場、など

3. 期日

2016年5月10日～15日 (移動日含む、講義は5月11日～14日)

4. 講師

Lutz Meissner 氏 【Meissner & team, German : PT, Sport-PT (DOSB), Medical Cotrainer (ZVK), Athletic Coach, GP】

5. 参加者

中国 (5名)、朝鮮民主主義人民共和国 (2名)、チャイニーズ台北・マカオ・香港・モンゴル・ラオス・日本 (各1名) : 計13名

その他、中国人コーチ、大学院生理学療法士など

6. 講義の概要

【講義】

Functional Warm Up 【機能的なウォームアップ】

Functional Test & Therapy / Training 【機能的な評価、治療、トレーニング】

Muscle Coaching (Stability / Mobility) 【筋への刺激 (安定性/可動性)】

Injuries in T & F 【陸上における外傷】

Acute Intervention 【急性期の介入】

Musculoskeletal Management: MT; Massage; PNF, MLD, Myo-fascial Techniques 【筋骨格系のマネジメント: 徒手療法、マッサージ、PNF、リンパドレナージ、筋膜テクニック】

Training with body weight; small equipment; machines 【自体重、器具、マシンを使ったトレーニング】

Medical Training Therapy 【医学的な運動療法】

Warm Up - Cool Down 【ウォームアップとクールダウン】

Stretch & Strength 【ストレッチと筋力トレーニング】

【実技】

Functional Diagnosis & Therapy 【機能的な診断と治療】

Articulation & Spine 【関節と脊柱】

Trunk & Upper Extremity 【体幹と上肢】

Trunk & Lower Extremity 【体幹と下肢】

Knee, Foot & Ankle 【膝と足部・足関節】

Prevention & Training 【予防とトレーニング】

7. 総括

講習は4日間、毎日90分×4コマで行われた。講習はドイツ人のLutz先生が英語で話され、それを中国語で訳し、その中国語を各々の国の言葉で中国の通訳の方が訳する形で進行していった。私には、日本で留学のご経験がある北京体育大学の李曉恵教授が通訳としてついでいただき、中国語→日本語の通訳をしてくださった。

講習は競技に即した競技特性を考慮したアプローチをすべきだという「Functional【機能的】」というキーワードや、3次元でヒトの動き、筋や関節の可動性、安定性をとらえるべきだという「Three Dimensions【3次元】」というキーワード、エクササイズの抵抗の位置を近位→遠位にすることで短関節→多関節への刺激、低強度の負荷→高強度の負荷へと発展させるという「Short→Middle→Long Lever Arm【短いレバーアームから徐々に長いレバーアームへ】」というキーワードなどが多用されていた。また、評価に基づいて治療、エクサ

サイズを行うことの重要性を多く訴えておられた。

上記の考え方を多用し、講義では基礎的な運動学、解剖学、発育発達学、病態生理学を中心として進められた。実技は大きく、Manual Therapy【徒手療法】とExercise【運動療法】に大別され、前者ではReflexology stickを用いた筋膜リリースやDistraction beltを用いたモビライゼーション (マリガンテクニック)、トリガーポイントアプローチなどが行われた。後者については、自重でのトレーニング、セラバンド・LOOP Bandを使ったトレーニング、ストレッチなどが行われた。全体的に上記に挙げた項目をすべて網羅して進められたため、概論的なものが多かった。

基本的には一方的な講習というよりは、発言を多く求められた。頸部痛、肩痛、アキレス腱部痛を有する受講者に対してのケーススタディーも行われ、講師と受講者の活発なディスカッションも行われた。

講師の先生は、重要なことは本講習の考え方をベースに、選手の状態に応じて、正確な評価、効果的な治療、競技特性につながるエクササイズをしっかりと考えて実践してほしいと結びで話されていた。

8. 所感

初めて海外で、英語で聴講するセミナーに参加したが、講師のLutz先生は、比較的ゆっくりと平易な英語で話して下さったこと、分からない言葉には聞き返せば丁寧に説明いただいたことから、それほどストレスなく受講できることができた。また李先生が中国語の通訳もして下さったため、大変助かった。

内容については、新規性のある内容というよりは、基礎の確認が主であったように感じた。しかし、基礎的な知識と現場の応用とのリンクや、触診の確認など知識、技術の整理には非常に役立つ内容であった。

セミナーでは多くの発言や意見を求められたため、多くの発言をし、積極的に参加することに努めた。また、他国のトレーナーと寝食をともにすることで、英語でのコミュニケーションも増え、普段英語を使う機会が少ない私にとっては大変貴重な経験ができた。一方でもう少し英語が話すことができれば、もっと充実したセミナーになっていたと思われるため、今後の英語力向上への大きな動機付けになった。4年後に控えた東京五輪の準備 (英語でのコミュニケーション力向上) という点でも、今後も本事業の有効活用はとても意義深いと感じた。

本セミナーを通して、海外の仲間ができたこともまた、貴重な機会であった。彼らと今後も情報交換を継続していくことも、自分を高めることができる一つの手段となるだろう。

最後に、本当に多くの貴重な経験をさせていただいた本セミナーに参加する機会をいただいた日本陸連関係者各位に感謝いたします。



大会観戦ガイド

2016.8.1時点

若きアスリートの熱き戦いが続きます！
全国小学生陸上は日産スタジアム、全日本中学陸上は松本平広域公園陸上競技場、全国高校陸上選抜はヤンマーフィールド長居が激戦の地！
是非、会場で応援して下さい！

TEL03-5321-6580 FAX03-5321-6591
日本陸連WEB内大会ページ
<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1375/>

平成28度全国中学校体育大会 第43回全日本中学校陸上競技選手権大会

▼期日：8月21日（日）～24日（水）
開会式 8月21日（日） 14：30～15：20
競技会 8月22日（月） 09：30～17：50
8月23日（火） 09：30～17：50
8月24日（水） 09：30～16：00
閉会式 8月24日（水） 16：30～17：00

▼会場：松本平広域公園陸上競技場
長野県松本市今井3443

▼アクセス：
＜車、タクシー＞JR東日本・松本駅から車で約30分、塩尻駅から車で約20分、村井駅から車で約10分
＜バス＞松本バスターミナルにて、松本電鉄路線バス「朝日線」乗車「信州スカイパーク・体育センター」下車約30分

▼種目：
＜男子＞ 13種目
100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、110mハードル、4×100mリレー、走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投（5.000kg）、四種競技（110mハードル、砲丸投（4.000kg）、走高跳、400m）

＜女子＞ 10種目
100m、200m、800m、1500m、100mハードル、4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投（2.721kg）、四種競技（100mハードル、走高跳、砲丸投（2.721kg）、200m）

“日清食品カップ” 第32回全国小学生陸上競技交流大会

▼期日：8月20日（土）
開会式 08：30～
競技会 09：30～18：00
▼会場：神奈川県・日産スタジアム
神奈川県横浜市港北区小机町3300

▼アクセス：
JR新横浜駅から徒歩15分
地下鉄新横浜駅から徒歩12分
JR小机駅から徒歩7分

▼種目：
＜男子＞ 7種目
6年生100m、5年生100m、80mハードル、走幅跳、走高跳、ジャベリックボール投、4×100mリレー
＜女子＞ 7種目
6年生100m、5年生100m、80mハードル、走幅跳、走高跳、ジャベリックボール投、4×100mリレー
▼参加者：小学生5・6年生に該当する年齢で、各都道府県での選考会を経て選ばれた代表選手22名と指導者4名とする。

▼放映予定
8月27日（土）13：00～14：30 NHK Eテレ

▼問い合わせ先：
日本陸上競技連盟



昨年度の大会より（女子6年100mの様子）



昨年度の大会より（女子走高跳で優勝した蓑輪夢未／中央中2年・福井）

▼放映予定:

8月28日(日) 14:30~16:00 NHK Eテレ

▼問い合わせ先:

(大会開催前)

第43回全日本中学校陸上競技選手権大会事務局(松本市立菅野中学校内)

TEL: 090-2491-6059 FAX: 026-403-2447

(大会開催中) 8月21日(月)~24日(水)

[昼間] 松本平広域公園陸上競技場

TEL: 0263-57-2211

[夜間] ホテルブエナビスタ

TEL: 0263-37-0111

大会公式サイト

<http://2016zenchu.nagano-rk.com/>

110mハードル、400mハードル、3000m障害物、4×100mリレー、4×400mリレー、走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳、砲丸投(6kg)、円盤投(1.75kg)、やり投(0.8kg)

<女子> 11種目

100m、200m、800m、3000m、100mハードル、4×100mリレー、走幅跳、走高跳、砲丸投(4.0kg)、円盤投(1.0kg)、やり投(0.6kg)

▼問い合わせ先:

第51回全国高等専門学校体育大会陸上競技事務局
豊田工業高等専門学校学生課内

TEL: 0565-36-5913

大会公式サイト

<http://www.toyota-ct.ac.jp/j/index.php/gakusei/82-51>

第51回全国高等専門学校体育大会 陸上競技

▼期日: 8月24日(水)~25日(木)

▼会場: パロマ瑞穂スタジアム

名古屋市瑞穂区山下通5-1

▼アクセス:

名古屋駅方面から→名古屋市営地下鉄桜通線「瑞穂運動場西」下車、2番出口から徒歩10分~15分

金山駅方面から→名古屋市営地下鉄名城線「瑞穂運動場東」下車、3番出口から徒歩3分~10分

市バスを利用

・金山14 金山 ↔ 瑞穂運動場東「瑞穂運動場東」下車、徒歩3分~10分

・金山15 金山 ↔ 瑞穂運動場東「瑞穂グラウンド」下車、徒歩1分~10分

・瑞穂巡回 新瑞橋 ↔ 新瑞橋「瑞穂グラウンド」下車、徒歩1分~10分

▼種目:

<男子> 18種目

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、



昨年度の大会より(男子4×100mRの様子)

第4回全国高等学校陸上競技選抜大会

▼期日: 8月27日(土)~28日(日)

▼会場: 大阪府・ヤンマーフィールド長居

大阪府大阪市東住吉区長居公園1-1

▼アクセス:

地下鉄御堂筋線「長居」、JR阪和線「長居」または「鶴ヶ丘」下車。

▼種目:

<男子> 6種目

300m、10000m、300mハードル、2000m障害物、3000m競歩、八種競技

<女子> 9種目

300m、5000m、300mハードル、2000m障害物、3000m競歩、棒高跳、三段跳、ハンマー投、七種競技

▼問い合わせ先:

日本陸上競技連盟

TEL03-5321-6580 FAX03-5321-6591

日本陸連WEB内大会ページ

<http://www.jaaf.or.jp/taikai/1378/>



昨年度の大会より(女子ハンマー投を大会新で優勝した関口清乃/進修館高3年・埼玉)



陸協NEWS

JAAF
SHIZUOKA

一般財団法人静岡陸上競技協会

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠1-14-31 吉野寿ビル2階
TEL.054-253-9801 FAX.054-253-9801
<http://www2.wbs.ne.jp/~nagata/t&f/>

今年はおリンピックイヤーです。この「陸協NEWS」が出る頃は、リオでは陸上競技の真っ最中になります。静岡陸協からは次の静岡県登録者又は出身者が出場しています。

200mに飯塚翔太君（ミズノ）、高瀬慧君（富士通）、ズズキ浜松ACから、800mに川元奨君、やり投に新井涼平君と海老原有希さん、十種競技に右代啓祐君と中村明彦君、1600mR加藤修也君（早稲田大）の8名です。それぞれが自分の一番のパフォーマンスを発揮して、活躍することを期待しています。

このオリンピック代表の選考会にもなりました第100回の日本選手権が名古屋（混成は長野）で開かれましたが、静岡関連6人の日本チャンピオンが誕生しました。前述では200m飯塚翔太君、800m川元奨君、やり投新井涼平君、十種競技中村明彦君、それに、女子1500m木村友香さん（ユニバーサル・静岡籠中出）、棒高跳青島綾子さん（新潟アルビレックスRC・磐田農高出）の6人です。

また、7月19日から24日までポーランドのビドゴシチでU20世界陸上選手権が行われましたが、大塚渉君（順天堂大）が200mと400mR、荻野太成君（神奈川大）が3000mSC、川野将虎君（御殿場南高）が10000mWに出場しました。

静岡ゆかりの選手が数多く活躍しています。この後行われます全国小学生交流大会、全日本中学校陸上でも、静岡の小・中学生が大活躍することを切望しております。

（文責：事務局長 大原一夫）

JAAF
GIFU

一般財団法人岐阜陸上競技協会

〒502-0841 岐阜市学園町3-49 仁科ハイツA-102
TEL.058-294-6494 FAX.058-294-6491
<http://www.gifu-riku.com/>

清流長良川の鶴飼開きとともに初夏の訪れを予感させる五月の長良河畔恒例行事となった第6回高橋尚子杯ぎふ清流マラソンは5月15日（日）に開催されました。今大会は、リオオリンピック開催年の大会ということから県民のマラソンへの関心が高まるなか、高橋尚子大会長、スペシャルゲスト野口みずきさんに加えて、リオオリンピック女子マラソン代表の福士加代子選手（ワコール）の出場で例年にも増して盛況な大会となりました。当日の天候も過去5回に比べ4℃ほど低く女子の部でユニスジェブキルイ・キルワ選手（バーレン）が1時間08分55秒の大会新記録（2連覇）で優勝しました。日本人選手のトップは福士加代子選手（ワコール）でした。駅伝でお馴染の岐阜県出身の安藤友香選手（ズズキ浜松AC）の7位入賞をはじめ（日本人選手2位）、野村沙世選手（第一生命）、水口郁子選手（デンソー）の健闘も大会を盛り上げました。

昨年コースの安全確保に登場した岐阜県警のランナーズポリスが話題になりましたが、今年も自転車ポリスが新たに導入され話題となりました。また、メディカル委員会を中心に救急体制の強化も図られランナーの皆さんにとってより安全・安心な大会として評判も上々でした。

第7回高橋尚子杯ぎふ清流マラソン大会は4月の第4週に開催されることになりました。全国のランナーには開催時期が早まることでより走りやすい長良川河畔を満喫していただけることと思います。

（文責：黄倉寿雄）

JAAF
AICHI

一般財団法人愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田2-19-16 千代田ビル7F
TEL.052-249-4363 FAX.052-249-4366
<http://www.aichi-rk.jp/>

第100回日本陸上競技選手権大会が65年ぶり2回目の開催となったパロマ瑞穂スタジアムで、6月24日から3日間の日程で盛大に行われました。地元選手の活躍もあり、連日大勢の観客が詰めかけました。3日間トータル61,800人とスタンドは連日ほぼ満席状態となりました。

1日・2日目は小雨のコンディションでありましたが、3日目は雨もあがり最終種目の女子200mで福島選手が、今大会唯一の日本新記録を樹立しスタンドの盛り上がりは最高潮に達しました。日本選手権大会が地元に残してくれたものは沢山あります。小・中・高の若いアスリートには計り知れない刺激を与えてくれました。愛知陸協としても競技運営を無事終え、大会成功に寄与できたことは大きな自信となりました。地元ゆかりの棒高跳の山本聖途選手（中京大一トヨタ自動車）、混成の中村明彦選手（中京大一ズズキ浜松AC）、女子長距離の鈴木亜由子選手（名大一日本郵政グループ）、関根花観選手（豊川高一日本郵政グループ）の4選手がリオデジャネイロオリンピックに日本代表として選考されました。県民あげてオリンピックでの活躍を大いに応援したいと思います。今後は東海中学、全国高専、東海選手権、日本ジュニア・ユース、東海高校新人とビッグゲームが目白押しです。愛知陸協として日本選手権大会で得た財産をもとに、各競技会運営に万全を期して取り込む覚悟でございます。団体強化合宿、都道府県駅伝連覇に向けての合宿も始まりました。特に長距離の合宿では、選手・コーチに医事部会ドクター横江先生から貧血についての講義を予定し選手強化に役立てたいと考えております。（文責：専務理事 稲垣裕）

JAAF
MIE

一般財団法人三重陸上競技協会

〒516-0023 伊勢市宇治館町510 三重県総合競技場陸上競技場内
TEL.0596-22-8890 FAX.0596-22-8890
<http://www.mierk.jp/menu/index.htm>

リオデジャネイロオリンピック男子マラソンに石川末廣（Honda）、男子走高跳に衛藤昂（AGF）、女子5000mに尾西美咲（積水化学）、女子3000mSCに高見澤安珠（松山大）の4選手が日本代表として出場します。本番での活躍を期待します。

オリンピック代表をかけた日本選手権はお隣の愛知県・パロマ瑞穂スタジアムで行われたこともあり、本県からも多くの方が応援に駆けつけました。その中で、転倒のアクシデントから追いつけた高見澤選手、見事なラストスパートを決めた尾西選手、2m29のバーをきれいにクリアした衛藤選手が見事優勝をしてオリンピック代表を決め、三重県全体が大いに盛り上がりました。また、女子100mの世古和（CRANE）、ハンマー投の植松直紀（中京大）や十種競技の清水剛士（NTN）も上位入賞を果たしました。

国際大会ではアジアジュニアで倉岡奈々（デンソー）が女子3000mで金メダル、野村智也（東海大）が男子走幅跳で銀メダルを獲得、塩澤稀夕（伊賀白鳳高）がアジアクロカン、西山雄介（駒澤大）が世界大学クロカン、中村匠吾（富士通）が世界ハーフに出場しました。

日本学生個人選手権では4名が優勝、東海高校総体では8種目で優勝するなど、後に続く若い選手たちも勢いがあります。

今年は競技場改修のため、7月の三重県選手権は補助競技場での開催になるなど厳しい条件での競技会となります。中でも、さらなる選手の活躍に期待します。

（文責：評議員 南部朗）

事務局からのお知らせ

◆◆日本陸上競技連盟マラソンメディスンセミナー 2016を開催します！◆◆

日本陸上競技連盟医事委員会では、安全なマラソン大会の運営に寄与することを目的に、さまざまな事態を想定したうえで、主催者側がどのような医療体制を構築すべきか、を中心としたマラソンメディスンセミナー 2016を開催します。

日時：2016年9月11日（日）13：00～17：00（予定）

会場：東京都北区 味の素ナショナルトレーニングセンター

対象者：日本陸上競技連盟公認コースで開催されるマラソン大会の医事責任者と事務局および、それ以外のマラソン大会、ロードレース大会の医事責任者と事務局

※詳細につきましては、本連盟ウェブサイト <http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html> にて掲載しますので、ご参照下さい。

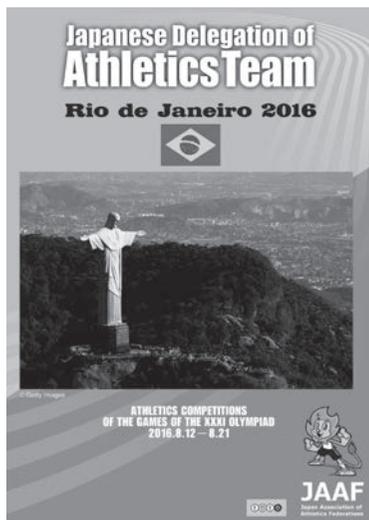
◆◆日本陸連公式サイト&SNSと一緒に日本代表選手を応援しよう！◆◆

日本陸上競技連盟公式WEBサイト、公式SNSではリオデジャネイロ五輪日本代表選手の結果や最新情報を随時更新し、ファンの皆さんにお届けいたします。TEAM JAPANと一緒に応援しましょう。

公式WEBサイト

代表選手プロフィール＆メッセージ、オリンピック日本人選手全成績や最高記録＆最高順位など情報満載でお届けします。

<http://www.jaaf.or.jp/>



公式SNSアカウント

Twitter (@jaaf_official)、Facebook (@JapanAthletics)、Instagram (jaaf_official) にて速報、競技写真、最新選手情報などを随時配信いたします。



陸連時報編集委員

◇編集委員

横川 浩（陸連会長）
友永 義治（陸連副会長）
八木 雅夫（陸連副会長）
尾縣 貢（陸連専務理事）
麻場 一徳（陸連強化委員長）
風間 明（陸連事務局長）
牧野 豊（陸上競技マガジン編集長）

◇時報編集室責任者

大嶋 康弘
◇時報編集担当
繁田 進
石塚 浩
木越 清信
宮田 宏
高橋 祐哉
小川ちあき

陸連時報編集室

〒163-0717
東京都新宿区西新宿2-7-1
小田急第一生命ビル17階
公益財団法人日本陸上競技連盟 内
TEL 03-5321-6580
FAX 03-5321-6591
WEBサイト <http://www.jaaf.or.jp/>
公式動画サイト <http://japanathletics.tv/>